

第5回 豊明市高齢者福祉計画策定・推進委員会

日時 令和3年2月17日(水)
午後2時から午後3時まで
場所 商工会館イベントホール
出席者 14名(欠席なし)

1, あいさつ

2, 議題

(1) 第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画パブリックコメント結果について

窓口ホームページにてパブリックコメント： コメントなし

(2) 第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画最終案について(資料1、参考資料)

介護報酬改定について、国より令和3年1月中旬に改定内容が公表された。改定率は+0.7%である。

5本の柱で、1つめは感染症や災害への対応力強化として、新型コロナウイルスを含む感染症への対応、災害時の事業所の運営について、通所介護等の報酬への対応についてです。2つめは地域包括ケアシステムの推進として、認知症への対応力向上に向けた取組の推進やICTの利用によるケアマネジャーが45人まで担当することができる。3つめは自立支援・重度化防止の取組の推進で、今回の改定で一番大きなものである。介護サービスの質の評価と科学的介護取組の推進として、各サービス事業所でどのようなケアをしたかを記録、報告するシステムを設けてビッグデータ化し、科学的に証明していきたいという国の意向があり、ケア内容を報告いただける事業所については加算をつけるというのが今回柱となっている。4つめは介護人材の確保・介護現場の革新として、主に業務効率化にかかる部分である。特にテクノロジーを活用した人員基準の緩和、押印等の事務負担軽減は豊明市でも4月1日から対応していく。5つめは制度の安定性・持続可能性の確保として、費用の面である。施設入所者の食費居住費について、低所得者については軽減がなされているところであるが、食費の基準額が上がった。

次に豊明市の介護保険事業計画の費用について説明する。介護保険の利用状況は一人当たり月18242円であり、今後上がることが見込まれる。認定率は軽度認定者・重度認定者ともに全国・愛知県の平均より低い。豊明市の大きな特徴であるサービスの利用傾向として、施設系サービスの利用が約半分を占める。全国有数の施設の病床数があり、特に特養、老健が700床がある。在宅生活が難しくなっていることが要因である可能性がある。今回の改定で、訪問介護事業所もリハビリテーションができることになっている。豊明市は訪問看護からのリハビリテーションを行っていることが特徴である。

次に地域密着型サービスの整備状況について説明する。第7期で予定していた整備目標は到達できなかったため、継続して第8期の整備計画とする。定期巡回・随時対応型訪問介護看護 + 1事業所、小規模多機能型居宅介護 + 2施設、グループホーム + 2事業所を予定している。

次に介護サービス事業量・事業費見込みについて説明する。豊明市の高齢化率の推移は令和3

年度で 26.6%、令和 5 年度で 26.9%となっている。要介護認定者の推計は、令和 2 年度末で 2893 人、令和 5 年度には 3314 人まで増える。認定率については、令和 2 年度で 16.1%、令和 5 年度には 18.3%まで上がる。サービス見込み量について、まずは施設系サービス利用者だが、現在特養、老健に 500 名程が入所している。令和 5 年度には 590 名程になると予想される。地域密着型サービスについてはグループホーム、地域密着型特養は合わせて 70 名程、令和 5 年度には 93 名程になると予想される。特定施設入居者生活介護は令和 2 年度は 100 名前後である。この 3 つを合わせ、施設・居住系サービスは令和 5 年度は 821 名と推計される。居宅サービスについては、ヘルパー、デイサービス、デイケア等が入るが、1 人で複数のサービス利用があるため、人数を見るには、介護サービスについては居宅介護支援の行を参考にさせていただきたい。令和 2 年度末には 1124 人、令和 5 年度には 1182 人となっている。介護予防支援は令和 2 年度末 300 人程から令和 5 年度には 340 人程となる。足すと、1450 人から 1500 人ぐらいになり、在宅で介護を受けている数ということになる。しかしながら、有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅といった住まい系に入っている方が 100 名程度含まれていると考えている。

次に介護保険給付費について説明する。介護サービスにつきましては、令和 2 年度末で 40 億円、令和 3 年度 43 億円、令和 4 年度 45 億円、令和 5 年度 48 億円が見込まれる。介護予防サービスは、令和 2 年度末で 15 億円、令和 3 年度 17 億円、令和 4 年度 18 億円、令和 5 年度 19 億円が見込まれる。大体、特別養護老人ホーム 1 人 29 万円程、老健で 32 万円程、グループホームで 30 万円程、在宅サービスの 1 人あたりの給付は大体 11 万円、12 万円程となりますので、施設に入られるということは、在宅の 2.5～2.8 倍費用がかかるため、施設利用率の高い豊明市は、費用額がかさむということになる。

次に介護予防支援・日常生活支援総合事業については、令和 2 年度末で 6000 万円程、令和 5 年度 7000 万円と推計される。一般介護予防事業については、4000 万円から 5000 万円程度見込まれる。包括的支援事業の事業量については、まずは地域包括支援センターとして令和 2 年度 8000 万円、令和 5 年度 9000 万円、任意事業の成年後見関係として 1000 万円程、かけはし・ちゃっと・認知症支援等で 5000 万円程を見込んでいる。

次に市町村特別給付・保健福祉事業について説明する。市町村特別給付の中の紙おむつ購入費の支給事業、配食サービス等の栄養改善自立支援サービス、ストレッチャー付きのタクシー利用の移送サービスを合わせて令和 2 年度 1200 万円から令和 5 年度 1400 万円程と見込まれる。保健福祉事業としては、栄養改善自立支援サービス、高齢者の一時保護、住民健康実態調査にかかる費用を合わせて 2000 万円程となる。

総費用額として、第 8 期計画の令和 3 年度から令和 5 年度で標準給付費で 150 億円必要となる。地域支援事業費は 8 億円である。それらを足し、保険料で賄わなければならないものは 37 億円程となる。これにより、第 8 期の保険料基準額（月額）は 5675 円とし、第 7 期より 160 円増となる。年額に直すと、基準額は 68100 円となる。第 7 期より 2000 円増となる。5675 円については、必要額 6344 円から基金の取崩しで 580 円下げ、国からの交付金で 89 円下がることとなる。

《質疑応答》

【委員】 他の市町村に比べての保険料の差はどのようか。

【事務局】 他市町村も確定していないため、明言はできないが、おおよそ県内 11 番目の高さになる。第 7 期の豊明市の保険料は上から 7 番目で、名古屋市より安い状況である。第 7 期については、名古屋市が月額 6391 円で一番高い、一番安いのは 4000 円ぐらいである。豊明は県内においては保険料基準額が高い傾向にあるが、施設入所率が高いため、給付費用も高いことが要因となっている。

【委員】 第 6 期から 7 期の保険料の増額はいくらであったか。

【事務局】 第 6 期 5 4 7 5 円から第 7 期 5 5 1 5 円で 4 0 円増であった。

【委員】 高齢化率が上がるが、第 8 期 160 円増で済むのは、準備基金取り崩しを行うためであるがどれぐらい取崩すのか。

【事務局】 今年度末残額で 9 億 5 0 0 0 万のうち、3 年間で 3 億 8000 万円を取り崩す予定である。プラスの部分でみると、インセンティブ交付金で 5 8 0 0 万円、調整交付金 3 億円で交付を予定している。

【委員】 標準給付費、地域支援事業費の第一号被保険者の負担割合である 23%は全市町村で同じか。

【事務局】 法定割合で全国一律で 23%を第一号被保険者の保険料で取るとなっている。

【委員】 3 年間で標準給付割合として 149 億円使い、介護保険サービスを使っていない人もいると思われるが、どれぐらいいるのか。

【事務局】 要介護認定率は 16%で、認定なしは 84%となる。しかしながら、地域支援事業費は要介護認定者以外にも利用できる一般介護予防事業、地域包括支援センターがある。これらはすべての人、元気な人も使える事業費になっている。149 億円については、要介護認定者が使うお金である。

【委員】 保険料への影響額として、580 円下がるが、第 9 期に向けてある程度基金は残るということか。

【事務局】 基金の 4 割程取崩すが、原資については今後の値上げの幅をコントロールするのに使えればと考えている。

【委員】 分子が増えるのは仕方ないが、分母をふやすことも可能か。

【事務局】 分母は 6 5 歳以上となり、やがては分母の人は分子に上がってしまうため、分母を増やすことが単純にいいとは言えない。よく言われているのは、分子を軽くしていくことである。介護予防でなるべく発症を遅らせる、重度化を遅らすことで分子を軽くしていくこと、あとは担い手の話だが、高齢者が高齢者を支えるような仕組み、ちゃっとの取組みがまさにそうだが、暮らしの支援をヘルパーでなくても相互に支えることによって分母と分子を充実させていく。第 2 号被保険者は 40 歳から 6 4 歳で健康保険から保険料を引いている。若い方々の人口を増やすことも重要である。

【委員】 支えあって喜びを感じることも大切である。8 0 2 0 のお祝いで励ましあえる施策があるといいのではないか。介護保険サービスを利用する人は少ないため、介護保険サービスの使用がない人へ励ましがあるといい。そのような場面を作ってほしい。モデル

になるような人を表彰する機会があるといいのではないか。

【委員】 名古屋市は保険料が高い分、サービスも手厚くなっている。費用による満足度も充実をしてもらいたい。豊明市は名古屋市と比べると保険料も安い、豊明市でよかったと思える良いサービスを行えるようお願いしたい。

* 今回の第8期の計画について、前回一致で賛成。

【事務局】 介護保険料については3月議会にて決定となる。今回で、第8期に任期満了となり第9期の仕組みの改定もある。補足として、8020については、豊明市は4月から歯と口腔の健康づくり推進条例で進めるかたちになっており、8020に加えて、8820もすすめていきたい。

【委員】 今後の課題として、認知症発症や単身世帯が増加し、孤独死の増加も見込まれる。このようなことも考慮しながら今後も計画していかなければならない。

閉会